

団体名：有限会社 あけとファーマーズマーケット

代表者：代表取締役 木村 奇弘

所在地：深谷市

〔ポイント〕

農産物直売所を整備し、平成15年度に「(有)あけとファーマーズマーケット」(取締役5人、出資者42人)を設立。明戸地区で生産された安全安心で、本物のおいしい農産物を消費者に直接提供することにより、地産地消による食と農の理解促進が図られている。生産者も直売専門農家が5戸誕生するなど地域農業の活性化にも大いに貢献している。活動の理念(メインテーマ、目標)は、明戸地区で生産された安全安心で、本物のおいしい農産物を消費者に直接提供する沖積土で作られた野菜の本当のおいしさを多くの人々に知っていただき、地域の農業者が主体となって明戸地区全体を活性化していく。

【活動の内容】

直売所の円滑な運営を図るため、直売部会と加工部会を設置し、直売部会では毎月1回作付講習会を開催して出荷品目数の拡大を図り、加工部会では地区の農産物を利用した加工品開発を進めている。

現在、農産物直売所は地域農業振興の活動拠点となるとともに、地場農産物の直売や農業体験、料理教室の開催などを通じて、地産地消により地区の農業・農村の理解を深める生産者と消費者の交流拠点へと機能が拡大している。

その他の活動として

1. 地元農産物を利用した加工品の開発

加工部会では、直売所のオープン前から「農村女性アドバイザー」や「ふるさとの味伝承士」を中心に試作研究し、深谷市特産の「深谷ねぎ」と小麦粉を使ったまんじゅうを開発。

2. 消費者への農業PR活動

野菜の収穫体験やコスモス祭でのコスモス摘み取りなどの農業体験、県の農林まつりや市の産業祭など種々のイベントを通じて、積極的に消費者に地域農業のPRを行うとともに顧客拡大を図っている。

3. 地元小学校での食育活動

直売部会員や加工部会員が地元小学校で、明戸の農業紹介や地域の食材を利用した郷土料理を紹介するなど、地域の子どもたちへの食育活動を行っている。

【活動の成果】

1. 地域農業の振興への貢献

初年度に事業目標である1億円の販売を達成。3年目は2億円を達成し、直売野菜の品目数は当初34品目から3年目には65品目に拡大。地域農業の活性化や直売専門農家の誕生に貢献している。

2. 地元農産物の加工品による有効利用

深谷特産のねぎを活用した「ねぎみそまんじゅう」「炭酸まんじゅう」をはじめ、地元産の餅米を使った赤飯、のし餅の製造販売を手がけ、年間販売額2,000万円に。

3. 環境保全、資源循環への寄与

平成17年度は特産である深谷ねぎなど12品目を特別栽培農産物として認証。